



はじめよう経済学
第8講 GDP

講師：加藤 真也

今回(第8講)は…

- ・ GDPとは
- ・ GDPの特徴
- ・ 名目GDPと実質GDP

国内総生産GDP

： 1年間に国内で生み出された
価値(付加価値)の総額
⇒ 国の豊かさを表す指標

**Gross
Domestic
Product**

**総計の, 粗い
国内の
生産**

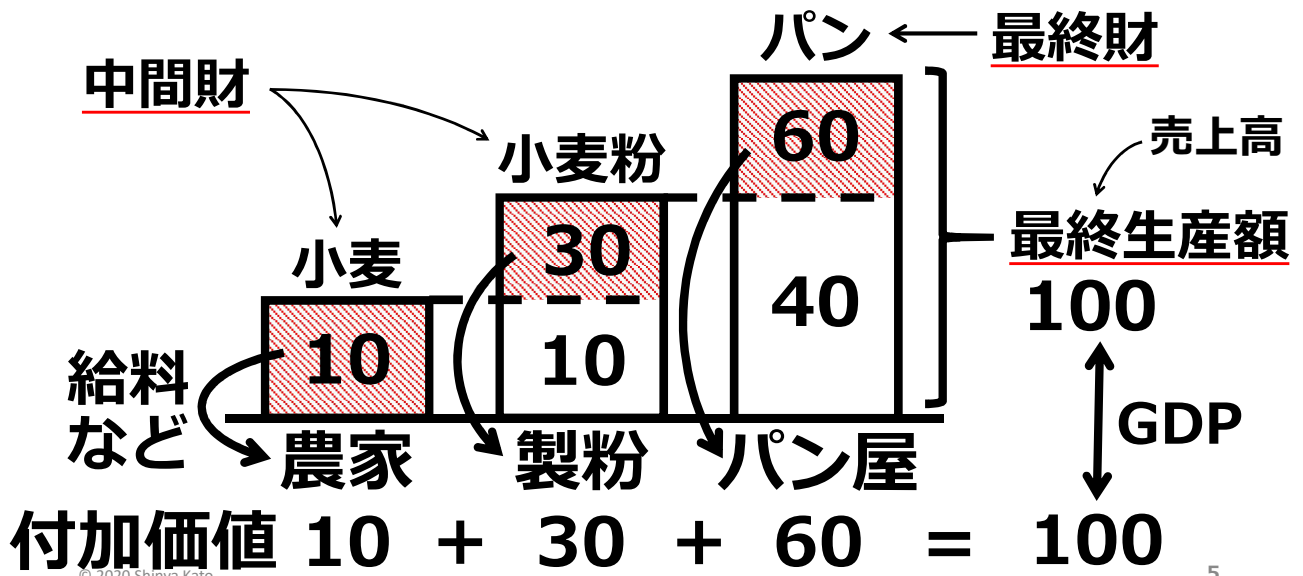
他に、

国民総生産GNP N : National

国内純生産NDP N : Net

⇒ すべて国民所得である

例 100万円分のパンを作る



ポイント

$$\begin{aligned} \text{GDP} &= \text{付加価値総額} \\ \text{国民所得} &= \text{最終生産額} \\ &= \text{総生産額} - \text{中間生産額} \\ &\quad \underline{10 + 40 + 100} \quad \underline{10 + 40} \end{aligned}$$

• GDPの特徴

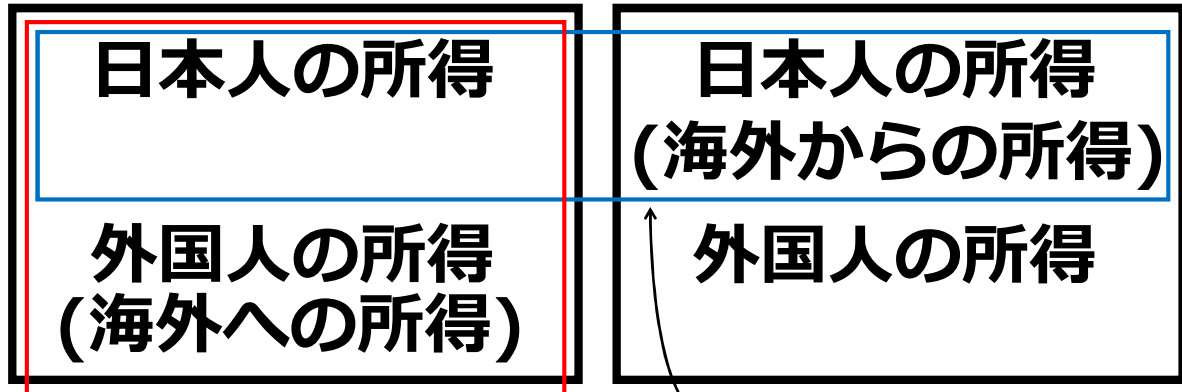
- ① サービスの生産額も含める
例 ホテル, 理髪店, 大学
- ② 家政婦サービスは含めるが、
家事労働は含めない
- ③ 環境破壊 → マスクが売れる
→ GDP ↑

他に、
中古品、株、土地の取引額は
含まない
⇒ 値上がり益も含まない

• GDPとGNP

日本

外国



国内総生産GDP

国民総生産GNP

Income : 所得 → (国民総所得GNI)⁹

• 名目GDPと実質GDP

	価格	販売量
<u>基準年</u> ↘ 2015年	P_1	x_1
2020年 <u>比較年</u> ↗	P_2	x_2

このとき、

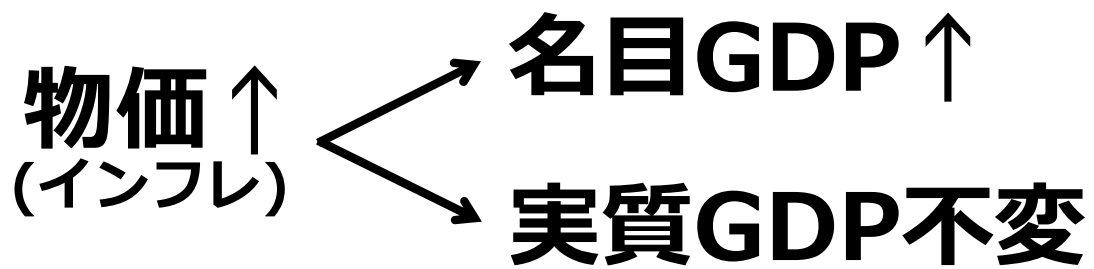
$$2020\text{年の}\underline{\text{名目GDP}} = P_2 \cdot x_2$$

$$2020\text{年の}\underline{\text{実質GDP}} = P_1 \cdot x_2$$

ポイント

**実質GDPは名目GDPから
物価変動の影響を取り
除いたもの**

販売量を一定とするとき、



$$\text{2020年のGDPデフレーター} = \frac{\text{名目GDP}}{\text{実質GDP}} \times 100$$

$$= \frac{P_2 \cdot \cancel{x_2}}{P_1 \cdot \cancel{x_2}} \times 100$$

例 60 \rightarrow

$$= \frac{P_2}{P_1} \times 100 (= 120)$$

50 \rightarrow P_1

⇒ 2015年の物価を100とすると、
2020年の物価は120である

ポイント

GDPデフレーターは
物価指数の一種である

⇒ 他に、 Consumer Price Index

消費者物価指数CPI

Corporate Goods Price Index

企業物価指数CGPI

例題

	③ 食料品	衣料品
2015年	100円, 30こ	100円, 20着
2016年	400円, 10こ	80円, 25着

このとき、④

名目経済成長率、実質経済成長率、
2016年のGDPデフレーター
を求めよ。

解答

名目GDP

$$\begin{aligned} \text{2015年} & 100 \times 30 + 100 \times 20 \\ & = 5000 \text{円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{2016年} & 400 \times 10 + 80 \times 25 \\ & = 6000 \text{円} \end{aligned}$$

名目経済成長率

$$= \frac{6000 - 5000}{5000} \times 100$$

$$= \underline{\underline{20\%}}$$

実質GDP

2015年 5000円(名目GDPと同じ)

2016年 $100 \times 10 + 100 \times 25$
= 3500円

実質経済成長率

$$= \frac{3500 - 5000}{5000} \times 100 = \underline{\underline{-30\%}}$$

ポイント

**経済の実質的な成長は、
実質経済成長率を見る**

$$\begin{aligned} \text{2016年の} \\ \text{GDPデフレーター} &= \frac{\text{名}}{\text{実}} \times 100 \\ &= \frac{6000}{3500} \times 100 \\ &\doteq \underline{\underline{171}} \end{aligned}$$

次回(第9講)は…

- ・ 三面等価の原則を学びます
- ・ 45度線分析やIS-LM分析の基礎になるお話です